

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]	
1	一般	2	1	8	144世界と結びつく国際化の促進	国際交流に要する経費	企画財政課		①日本人や在住外国人等の国際交流活動の推進、姉妹都市（ニューゼaland・ワカネ）との交流、国際交流協会への補助金交付 ②市民の国際交流促進の一環として提携している姉妹都市の市民認知度が低い状況にあり、改善を図っていく必要がある。	3,422	2,939	7拡充	①外国人数が継続して増加する中で、東京五輪開催決定など、今後も多くの外国人が訪れる中で、多文化共生社会実現に向けた取組みを拡充する必要がある。 ②通常の姉妹都市交流に加え、平成26年度はワカタネ市長訪問団を迎え、市民の認知度向上等を目的に、多文化共生推進センターを中心としてPR事業を実施していく。	698	
2	一般	2	1	8	144世界と結びつく国際化の促進	国際化に要する経費	企画財政課		①多文化共生推進計画に基づく取組みを進めながら、行政サービスの翻訳など、外国人の住みやすい環境づくりや市民の国際化に資する取組みを進めていくもの。 ②外国人が増加する中で、市民の多文化共生意識の醸成、外国人の暮らしやすい環境づくり、必要な情報提供等を進めていく必要がある。	460	336	7拡充	①外国人数が継続して増加する中で、東京五輪開催決定など、今後も多くの外国人が訪れる中で、多文化共生社会実現に向けた取組みを拡充する必要がある。 ②平成27年度からの新たな多文化共生推進計画を策定するとともに、計画に掲げた取組みの推進を図る新たな推進会議を設置する。	1,788	
3	一般	2	1	8	144世界と結びつく国際化の促進	(仮称) 多文化共生センター設置事業	企画財政課	○	○	①国籍にかかわらず、お互いの文化を理解し、共に地域の一員として生活できる多文化共生社会実現のための拠点施設として多文化共生推進センターを設置するもの。 ②市の現状から多文化共生社会実現に有効な機能を精査し、整備する必要がある。	—	1,429	1終了	①予定どおり設置事業を進め、平成26年4月7日に多文化共生推進センターを開所した。 ②引き続き、ニーズを把握しながら、多文化共生社会実現に必要な機能整備、事業の実施等を進めていく。	—